



フェリス女学院短期大学音楽科同窓会
F グ ル ー プ 研 修 会

◆ピュイグ＝ロジェ先生による公開レッスン◆

通訳／鶴^{つる}園^{その}紫磯子^{しまきこ}

「ピュイグ＝ロジェ ピアノ教本」序文から

— 音楽は芸術です。それは表現の手段であり、
人間どうしのコミュニケーションの手段なのです。 —

教材「ピュイグ＝ロジェ ピアノ教本 — 古典の巨匠とともに」

「アドロア・プチ・ドア」(ピュイグ＝ロジェ著)より

生徒／山手音楽教室生徒

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 1991. 12. 14 (土) A.M. 10:00~12:00 |
| 場 所 | フェリスホール |
| 会 費 | 同窓生／1,500円 一般／2,500円 当日受付でお支払い下さい。 フェリス女学院大学音楽学部学生のみ無料 |

※当日使用の楽譜「ピュイグ＝ロジェ ピアノ教本」は受付にて販売致します。

公開レッスンに寄せて

ピアノを習わせる、或いはピアノを教える、ということは現在の日本では普及されつくしたと言えるでしょう。けれども本当にピアノを愛し、ピアノを通して美しいものに心を開き、豊かな人間性をはぐくんでいける子供達が育っているのでしょうか。

アンリエット ピュイグ＝ロジェ女史による公開レッスンは今、ピアノ教育にかかわっている私達一人一人がピアノを弾くという事の意味を考え直すきっかけとなるような、具体的な提言、警鐘に満ちているものと期待しています。

Fグループ副会長 熊本美也子

Fグループ・山手音楽教室 共催

今井

ピュイグ＝ロジェ先生による

公開レッスン

1991年12月14日（土）10時

フェリスホール

通訳 鶴園 紫磯子

- | | | | |
|---------|--------|------------|--------|
| 1) 1巻より | 8番 | 主題と変奏 | 大矢 絢子 |
| | 22番 | D コラール変奏曲Ⅱ | |
| 2) 1巻より | 17番 | コラール変奏曲Ⅰ | 島津 綾乃 |
| | 22番 | D " Ⅱ | |
| 3) 2巻より | 29番 | 声楽曲 | 安藤 菜央子 |
| | アドロアより | 12番 | |
| 4) 2巻より | 38番 | シャロレ風に | 平 裕子 |
| | アドロアより | 27番 | |
| 5) 3巻より | 53番 | 変奏曲 | 菱刈 孝子 |
| | 58番 | 声楽曲 | |

テキスト

ピュイグ＝ロジェ ピアノ教本
1,2,3巻

アドロア・プチ・ドア

プロフィール

パリ国立高等音楽院に学び、ピアノ、伴奏、和声、対位法とフーガ、オルガンと即興、作曲の各部門に一等賞を得て卒業。1933年にローマ大賞を受賞。フランス国立放送局専属のピアニスト、オルガニスト、スコアリーダー兼奏者として35年間の活動を経て、パリ・シナゴグ教会堂およびオラトワール・デュ・ルーブル礼拝堂の正オルガン奏者をつとめる。

レコードも数多く、バテ・マルコニー、O.R.T.F. (フランス国立放送) に録音、その中で3回、フランスアカデミー賞を受賞。また永年の功績によりレジオン・ドヌール勲章も受賞。

一方教育者として1957年～1979年の間パリ国立高等音楽院教授をつとめ現在は同音楽院名誉教授。わが国へは1979年に初来日以来、東京芸大客員教授、武蔵野音大講師などをつとめるかたわら演奏活動も活発に行ない、1985年には文化庁の芸術祭賞を外国人として初めて受賞、1988年にはモービル音楽賞を受賞した。